

各
高等学校長 殿
中等教育学校長 殿

茨城県立水戸第二高等学校長 生駒 忠夫
(公印省略)

平成 30 年度 S S H 課題研究評価法報告会について (ご案内)

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は平成 18 年度から文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受け、現在 3 期 3 年目の指定校として研究開発に取り組んでおり、この度、標記の事業を下記の要領で実施いたします。

つきましては、ご多用中とは存じますが、特にポートフォリオに興味関心のある先生方にご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 1 目的 本校生徒の課題研究に対して行っている評価法を報告し、今後の評価の向上を図る。
- 2 内容 課題研究の過程も含めた客観的な評価を行うために、生徒のパフォーマンスを多面的に評価する真正な評価と、ポートフォリオやそれらを電子化して扱う"e ポートフォリオ"について、有識者から助言をいただく。
- 3 日時 平成 30 年 7 月 3 日 (火) 12:30 ~ 15:30
- 4 場所 本校 会議室
- 5 講師 東京学芸大学 情報処理センター 教授
森本 康彦 (もりもと やすひこ) 氏
- 6 日程 12:00 ~ 受付
12:30 ~ 13:20 本校課題研究評価について報告および質疑応答
13:30 ~ 15:30 講演
15:30 ~ 15:40 質疑応答
15:40 閉会
- 7 その他
 - ・参加を希望する場合は、6 月 22 日 (金) までに参加申込書を FAX していただくか、参加申込書の内容を下記お問い合わせ先 E-mail アドレス宛に送付してください。(会場の関係で、各学校、最大で 3 名とさせていただきます。)
 - ・ご来校の際は、公共交通機関をご利用ください。なお、やむを得ずお車をご利用の際は、近隣の駐車場をご利用ください。

お問い合わせ先

梶山 昌弘

茨城県立水戸第二高等学校

〒310-0062 茨城県水戸市大町 2-2-14

TEL: 029 (224) 2543 FAX: 029 (225) 5049

E-mail: kajiyama.ssh@gmail.com>

eポートフォリオで学校が変わる(1)今、求められるeポートフォリオとは



「教育新聞」

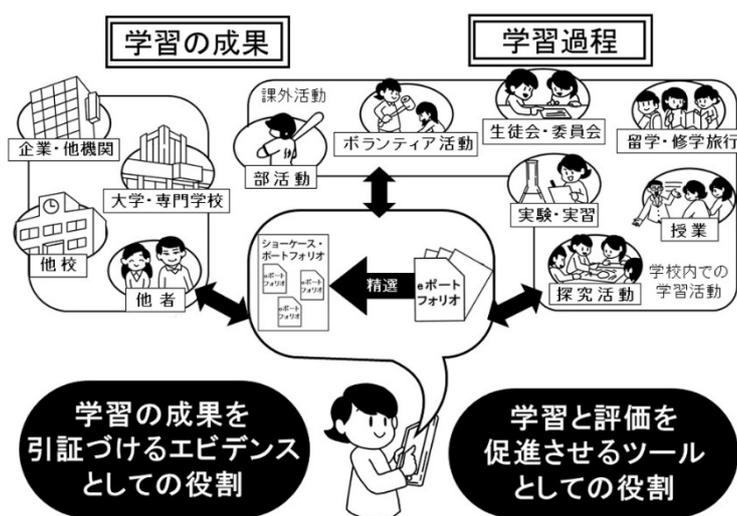
いつの頃からでしょうか。授業をのぞくと、子供たちが笑顔で対話しながら夢中になって学びに取り組んでいる姿が目に見え込んでくるのが当たり前になりました。かつての、教室にチョークと教師の声が響き、静粛の中で子供たちが黙々とノートに向かい、何かを書いている風景。それは、遠い昔のこのようです。

2020年から順次始まる新学習指導要領の下では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現が強調されていますが、すでに学校現場では、小学校を中心に着実に広がりを見せていると言えます。

児童生徒自らが、協働的に学びに取り組み、学習活動を振り返って次につなげる主体的・対話的で深い学びの過程では、さまざまな学びの記録が生成されます。これら記録を電子的に蓄積したものの全てが「eポートフォリオ」です。

学習過程で蓄積されたeポートフォリオは、児童生徒の次の学びの教材として活用できるだけでなく、継続的に蓄積していくことで、過去と現在の学習状況を把握、評価し、そして未来の伸びしろまでみることができる「学びのアルバム」になるのです。主体的・対話的で深い学びで育成される「テストだけでは測ることができない資質・能力」を評価するツールとして、eポートフォリオが注目されるようになったのはこのためです。

また、児童生徒は、eポートフォリオを記録したり、見返したりするときに自問自答（自己評価）による気づきが生まれて学びが促進され、それを繰り返すことで、学びが定着していきます。さらに、長期的に蓄積された多量のeポートフォリオから、学習履歴やベストワークを精選し、入試や就職にも活用できるようになります。



21年度からの大学入試では、筆記試験に加え「主体性を持って多様な人々と協働する態度」をより積極的に評価するため、調査書や志願者本人が記載する活動報告書等を重視する方針が示されました。この多面的・総合的な評価を実現するための証拠（エビデンス）が、eポートフォリオになります。

つまり、eポートフォリオには2つの重要な役割があります。1つは、学習過程において「学びと評価を促進させるためのツール」としての役割。もう1つは、結果としての「学習の成果を引証づけるエビデンス」の役割です（図）。よく、学習の最終成果物や履歴書に当たるものをeポートフォリオと呼ぶケースがありますが、それはeポートフォリオの一側面に過ぎません。学習過程における密な学びと評価があつての学習成果ですから。

**平成30年度 茨城県立水戸第二高等学校
SSH課題研究評価法報告会 参加申込書**

申込み先 : 茨城県立水戸第二高等学校 SSH担当 梶山昌弘 行

FAX番号 : 029 - 225 - 5049 (FAX送付状は不要です。)

学校名 (所属名)			送信者名		
連絡先	住所				
	電話		FAX		
	E-mail				

参加教員一覧

職氏名	教科	備考

13:30 からの講演のみの参加も可です。